

人の役に立てないと思ってしまうだけかへ

松原市立松原南小学校 5年 井上 咲希

私は、人の役に立てることはいいことだと思っています。でも、たまに役に立っていないと思う時がありました。そう思う人の気持ちはどうなのだろうと思いました。自分は役に立てなくて、1人でなやむこともありました。けれど、相談できる友だちが増えてきました。

国語の授業で、みんなが生きやすい社会にするためにどうすればいいか考えました。その時、あるアンケートを見て思いました。そのアンケートは、自分が役に立っていると思っている人の数でした。それを見て、私は自分も役に立っていないと思う時があったから、そう思う人の気持ちを考えようと思いました。

調べてみたら、「自分は役に立たないと強く感じる」という設問に、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した若者の割合は、日本では51.7%と半数はこえました、とネットに書いてありました。そこから、自分と同じように、役に立っていないと思う人たちがいると分かりました。その人たちは、どんな時に役に立っていないと思うのかを調べたアンケートを見てみました。そうすると、自分がしたことに対して、返事がなかった時にそう思う人や、苦手なことを教えてもらう時などがありました。

そこから、「私はこれができないから役に立てない。」とあって、1人でなやんでしまうのが役に立っていないと思う人は困るのではないかと考えました。その人たちは、もしかしたら自信を持っていなくて、人に相談できずに、生きる自信もなくなってしまっているかもしれない。その人たちがずっとなやむのは、役に立てていないと思う時、その気持ちが表に出ないからだと思えます。私も、相談するには勇気がいるから、気持ちを表に出すのはむずかしいです。けれど、役に立てないと思わせてしまっている人は気づかず、ずっと人をきずつけてしまいます。それが問題だと思えます。

その問題を解決するために、私は、とにかくその人の気持ちを表に出してあげる、つまり相談に乗ってあげるということです。そのためには、その人からも少し相談してほしいです。そして、気持ちを表に出していこうと思いました。

それと、役に立っていないと思う必要はありません。なぜなら、人の役に立てなくても、落ちこむことはないからです。そのことをみんなに知ってほしい。人の役に立てなくてもいいじゃありませんか。これは、友だちに自分で伝えることができることだと思えます。社会は、このことを友だちだけではなくて、みんなに伝えることができる社会になってほしいです。そして、みんなで役に立てないと思う人をへらしていく社会になってほしいです。

このように、私たちは、役に立てていないと思う人のために、相談をしてあげることができます。そして、気持ちを表に出してあげることで、そう思う人をへらしていけます。そして、役に立てなくても落ちこまなくてもいいです。生きる自信もなくなってしまう前に、相談してあげよう。みんなが役に立てないと思わない社会を作るために、みんなで助け合いましょう。